

□人権教室・「人権の花」運動【明石人権擁護委員協議会】

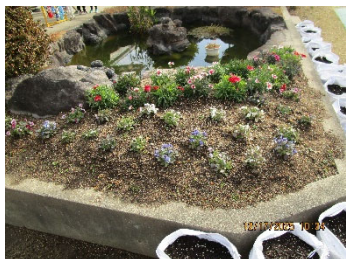
子どもへの思いやりの心の醸成や人権意識の普及・高揚を図るため、各学校園にて人権教室や「人権の花」運動を実施しています。

ここでは、令和7年度に行われたそれぞれの活動の様子を紹介します。

■令和7年度の明石人権擁護委員協議会では、明石・三木地区内の合計18校園にて人権教室を実施しました。各会場ではウォークバルーンの登場や啓発グッズの配布など、子どもたちが人権に親しむ機会を提供しています。中でも本年は、協議会独自に創作した新作のペープサート（紙人形劇）『空を飛んだリリとココ』が、明石市内の2園で初披露されました。実施後アンケートでも新作への評価は高く、物語を通じて自分や他人を思いやり大切にする気持ちが伝わったとの声も寄せられました。明石協議会では今後も子どもの思いやりの心を育む人権教室を継続し、内容の充実を図っていきます。



■令和7年度「人権の花」運動を明石市内2校園、三木市内3校園で実施しました。12月に明石市内幼稚園にて贈呈式が行われ、明石ネットワーク委員が花を育てる取組に込められた“人権を大切にする心”について、園児たちにわかりやすく説明しました。式では実施校へ感謝状と参加賞を贈呈し、最後には人KENまもる君・あゆみちゃんのウォークバルーンも登場。子どもたちが楽しく学べる温かな行事となりました。



□人権教室【洲本人権擁護委員協議会】

洲本協議会の活動では、令和7年度に開催した人権教室の様態をお届けします。

■洲本市の小学校で行われた人権教室では、4年生に対し、こども達の身近な生活の中で起こりえる「いじめ」をテーマにしたアニメ「勇気のお守り」を上映しました。

こどもたちは、いじめめる人・いじめられる人・その周囲の人のそれぞれの気持ちを考え、いじめの解決策を積極的に発表していました。

いじめは人権侵害であること、相手の気持ちに「気付き」お互いを思いやることがいじめの解決へつながるということを学びました。



■南あわじ市の幼稚園等で行われた人権教室では、いじめをテーマとした紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」とプライベートゾーン（主に水着で隠れる部分）をテーマとした絵本「おしえて! くもくん」の読み聞かせを行いました。

園児たちは真剣な表情で聞き入り、いじめはいけないこと、みんなで仲良くすること、プライベートゾーンは他人に見せても触らせてもいけない大事な場所であることを学びました。

また、教室の最後には、人権イメージキャラクター人KENまもる君、人KENあゆみちゃんのウォークバルーンが登場し、とても賑やかで楽しい教室となりました。

■淡路市の小学校で行われた人権教室では、6年生に対し、ジェンダー問題を考えるきっかけとなる絵本「だがしやおっちゃんはおばちゃんなのか？」の読み聞かせを行いました。

こどもたちは、「男らしさとは、女らしさとは何か？」ということを考えながら、世界には様々な性自認の人たちがいること、それらの人たちのことを互いに認め合うこと、尊重し合うことが大切であることを学びました。

